

東京ベイ eSG プロジェクト国際発信イベント実施運営計画策定及び一部準備業務委託
企画審査基準

東京ベイ eSG プロジェクト国際発信イベント実行委員会（以下「実行委員会」という。）事務局が発注する東京ベイ eSG プロジェクト国際発信イベント実施運営計画策定及び一部準備業務委託に係る審査基準については次のとおりとする。

1 審査機関

- (1) 本委託業務の技術的な審査については、東京ベイ eSG プロジェクト国際発信イベント企画提案等審査委員会において実施する。
- (2) 企画提案等審査委員会は、仕様書に記載している体制、機能及び技術等の必要要件を満たしているかの判断、下記 2 の (2) に基づき付与する点数の判断及び企画提案書の内容について審査、評価する。

2 委託先決定基準

(1) 委託先の決定方法

委託先の決定は、評価点の評価で無効となっていない者のうち、評価点の合計が 120 点以上で、且つ最も高い者とする。

本案件は、各評価項目において、6 段階評価中、1 以上であることを必要とする。一項目でも評価 0 の項目があった提案書は採用しない。

ただし、最高得点者が 2 社以上あるときは、当該の者にくじを引かせて委託先を決定する。この場合において、出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係ない者にくじを引かせ、落札者を決定する。

無効は以下のとおりとする。

- (ア) 総得点が「0 点」の場合
- (イ) 提出が必須とされた資料を未提出の場合
- (ウ) 評価点を評価するために提出された資料及び様式の内容に虚偽及び捏造が確認された場合

(2) 評価点の得点配分

200 点を満点とする。

なお、評価点の評価項目及び配点は次のとおりとする。

企画提案書の審査、評価項目及び配点（評価点）に係る点数配分表

○評価項目

評価項目	配点
1 本委託業務に対する理解度	10
2 イベントに関する知見・実績	20
3 企画内容	
(1)全体運営	30
(2)有明アリーナ会場	30
(3)日本科学未来館会場	30
(4)周辺連携	30
4 広報	20
5 事業の実現性	20
6 その他	10
評価点 計	200

3 評価点の評価方法

- (1) 評価点の評価は、企画書等及びヒアリングによって行い、その評価基準は「4 評価基準」とする。
- (2) 評価点の評価は、企画提案等審査委員会各委員の採点を合計し、委員数で割ったものとする。算定結果をもとに、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。

4 評価基準

企画書等及びヒアリングの内容については別紙「落札者決定基準における評価の内容、観点」を踏まえて、以下の採点基準により評価・採点する。

- ・評価は0から5までの6段階とする。
- ・詳細は、以下のとおりとする。

評価		加点
段階	内容	
5	傑出して非常に優れている提案	分類別配点 × 1.0
4	特に優れている提案	分類別配点 × 0.8
3	優れている提案	分類別配点 × 0.6
2	やや優れている提案	分類別配点 × 0.4
1	必要事項の記載のみ	分類別配点 × 0.2
0	必要事項の記載がない	なし

2023年度 東京ベイ eSG プロジェクト国際発信イベント実施運営計画策定及び一部準備業務委託

落札者決定基準における評価の内容、観点

評価の内容		評価の観点	
1	本委託業務に対する理解度	東京ベイ eSG プロジェクトの理念と、描く持続可能な未来の都市像をいち早く具現化して発信し、様々な主体による共創の機会を生む取り組みとなっているか。コロナ禍、気候変動対策、エネルギー問題等に柔軟に対応し得る持続可能な都市となるための社会構造改革を図るといった目的の適切な理解に基づく提案であるか。	
2	イベントに関する知見・実績	本事業を効率的・合理的に推進するにあたって、2000人以上の体験型イベント開催・集客実績があるなど、イベントに関する企画、運営、広報等の知見を有しているか。また、海外で行われている国際的なコンGRESや展示会の事例を提示し、それらの成功要素を取り入れた提案となっているか。	
3	企画内容	全体運営	会場運営や運営体制について知見を活かした提案となっているか。また、イベントセレモニー、周辺イベントとの連携、会場間等輸送、警備体制、緊急時対応等が十分に検討されているか。
		有明アリーナ会場	【効果】 これまでのイベント開催実績や知見等を踏まえ、「Tech」、「Food」のテーマを軸に、メインターゲットである国内外のビジネス、行政層に対して高い訴求効果が期待でき、日本のプレゼンス向上につながるようなプログラム、登壇者構成となっているか。
	【新規性】 コンGRES、エキシビジョン双方において、最先端テクノロジーを駆使し、来場者が未来を感じられるような没入感のある提案となっているか。		
	日本科学未来館会場	【効果】 これまでのイベント開催実績や知見等を踏まえ、「Tech」、「Food」のテーマを軸に、メインターゲットである一般客に対して高い訴求効果が期待でき、参加者の行動変容につながるような体験型の提案となっているか。	
		【新規性】 日本科学未来館の特性を活かし、来場した誰もが体験し、未来の社会を想像し、よりよい未来に向けた行動を始めることができるような提案となっているか。	

	<p>周辺連携</p>	<p>エリア全体での盛り上げを創出するための提案がなされているか。本事業の開催エリアや開催時期を踏まえ、連携するイベントのリストアップや具体的な連携のイメージが提案されているか。</p>
		<p>参加者が複数回来場したり、連携イベントに周遊したくなるような工夫がされた提案であるか。</p>
<p>4 広報</p>	<p>【効果】 イベント実施前、イベント期間中、イベント実施後の3つのフェーズに合わせて、イベントの認知度や開催意義を最大化する工夫を凝らし、ウェブサイトやSNS等を効果的に活用し、イベントの効果を最大化させる工夫された提案となっているか。</p> <p>【新規性】 デジタルツールを最大限活用して参加者自らの発信を促すような仕掛けがあるなど、新規性のある工夫された広報となっているか。</p>	
<p>5 事業の実現性</p>	<p>具体的で実効性・確実性の高い企画内容となっているか。本事業の確実な履行に当たって必要な業務工程を見込んでいるとともに、本事業を確実に実現できるスケジュールとなっているか。</p> <p>専門的知識・経験・実績のある責任者、担当者を会場ごとに配置し、本事業を円滑に実施しうる体制が確保されているか。連絡・調整・交渉、登壇者・参加者の管理など、業務履行に必要な運営体制が整っているか。業務実施工程表は適切か。</p>	
<p>6 その他（効果測定、コスト削減の工夫、サステナビリティへの配慮）</p>	<p>事後の効果測定も踏まえ、イベント開催により期待される効果がわかりやすく説明されているか。</p> <p>費用対効果の高い提案であり、コスト削減の視点が各事業に反映され、また、費用配分は適切な提案となっているか。</p> <p>展示物や広告物、グッズなど本事業に関わる製作物の素材や製法が環境に配慮されたものになっているか。また、本事業自体が地球環境に貢献するような仕掛けや、イベント参加者の行動及びイベント自体の環境貢献度を可視化するような工夫があるか。</p>	